

日仏文化学院 パリ日本人学校



令和8年度学校だより 第6号 令和8年7月24日発行 パリ日本人学校 堀内正樹

ご支援ありがとうございました

1学期を振り返りますと、子どもたちは学習はもちろん、さまざまな行事を通して大きく成長しました。5月の運動会では、準備から当日まで学部や学級を越えて応援し合しあい、今までとは違う広い範囲の仲間と力を合わせる喜びを実感していました。

中学部のノルマンディー地方への宿泊活動では、歴史や文化に触れながら、集団生活の中で自立心を育む貴重な経験となりました。小学部のサンカンタン池での宿泊体験学習（野外活動）では、自然の中で協力し合い、普段の学校生活では得られない学びを深めることができました。

明日から夏休みに入ります。安全に気をつけながら、ご家庭でのゆったりした時間や長い夏休みでないとできない体験が、子どもたちの心身をさらに豊かにしてくれることを願っています。

2学期も、子どもたち一人ひとりが自分らしく輝ける学校づくりを進めてまいります。引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



1 学期にがんばったこと

【いちがっきに がんばったこと】

1年1くみ T.G

ぼくは、いちがっきに がんばったことが ふたつ あります。

ひとつめは、こくごの おんどくです。

おおきなこえで はっきり よんで、 はやさにきをつけて、 しせいを よくすることを がんばりました。 とくに がんばって よんだ おはなしは、「おおきなかぶ」です。 なんかいも れんしゅうして まえより じょうずに よめるようになりました。

ふたつめは、 うんどうかいです。

うんどうかいの なかでも とくに ダンスが たのしかったです。 なぜかという みんなと ダンスを していると、 だんだん きよくも ふりつけも おぼえられるようになったからです。 みんなと たくさん れんしゅうを がんばったの

で、 ほんばんは それまで いちばん 上手におどれました。

うんどうかいの けっかは しろぐみが まけてしまったけど、 いい おもいでに なりました。 らいねんは かちたいです。

にがっきは ぱりにちさいがあると きいたので、 とても たのしみです。 ようちえんのとき げきを したことが あり、 それが たのしかったので、 ぱりにちのはっぴょうも たのしそうだ おもいました。

にがっきも いろいろなことが できるように がんばりたいです。



【1 学期にがんばったこと】

4年1組 T.Y

ぼくが、1学期にがんばったことは2つあります。一つ目は、運動会の練習です。ぼくは、運動が苦手でも一生懸命練習しました。なぜかという、チームのみんながはげましてくれたからです。

二つ目は、算数の計算です。3年生や2年生のころは計算ミスが多かったけれど、4年生になってからは、計算ミスが少しへってきた気がします。これから減らしていきたいと思います。

3学期は、僕は新しい学校に転校するので、新しい学校でもがんばれることを目標に、フランス語や英語の練習をがんばっていききたいと思います。

【1学期を振り返って】

2年A組 K.S

3年前、不安な気持ちで始まったフランスでの生活も、気が付けば最後の1学期となりました。今日は、この学校で過ごした3年間を振り返りながら、私が学んだことを話したいと思います。

3年前、フランスに来たばかりの私は新しい環境での生活に不安を感じていました。言葉や文化、学校生活など、日本との違いに戸惑うこともありましたが、し

かし、パリ日で生活していく中でその不安は少しずつ楽しさへと変わっていきました。

この学校では、日本では経験できなかったことをたくさん経験することができました。宿泊学習では現地の文化や歴史に触れ、日本とは違う考え方や習慣に出会いました。最初はただ「違う」と感じていたことも、過ごしていくうちに「違うからこそ面白い」と思えるようになりました。フランスで生活した3年間は、私の世界を広げ、物事をいろいろな視点で考えられるようになったとても大切な時間だったと思います。

また、パリ日に来たからこそ挑戦できたこともたくさんありました。その中でも特に心に残っているのが児童会活動です。私は小学五年生の後期から児童会に入り、書記、副会長、そして最後は会長を務めました。小学部朝会の司会をしたり、学校生活をよりよくするための児童会企画に取り組んだり、みんなが過ごしやすい学校づくりを目指して活動しました。最初は人前で話すことが苦手で、不安もありましたが、仲間や先生方に支えられながら経験を積むことで、自信を持って行動できるようになりました。中学生になってからもその経験は生かされました。

私は代議員を務め、クラスのみんなの意見をまとめたり、学年のことを考えて行動する機会がありました。最初は自分の意見を伝えることに迷うこともありましたが、児童会での経験があったからこそ、自分から行動することを大切にできたと思います。学習面でも新しい学習内容に戸惑うこともありましたが「まずは挑戦してみよう」という気持ちを持って取り組むようになりました。わからないことはそのままにせず先生や友達に相談したり、自分なりに工夫して勉強したりすることで、少しずつ自信がついてきました。

運動会では応援団に挑戦しました。以前までの私なら緊張して挑戦することをためらっていたかもしれませんが、しかし、パリ日でさまざまな経験を重ねたことで、「まずはやってみよう」と思えるようになりました。挑戦することは勇気がいりますが、その一歩が自分の成長に繋がる大きなものだということを実感しました。

この学校は少人数だからこそ、一人一人に活躍できる機会があります。その分、自分から行動することや、仲間と協力することが必要です。一人ではできないことも、みんなで支え合うことで乗り越えることができました。少人数だから大変だと感じることもありましたが、それ以上に、一人一人の存在の大切さや、協力することの大切さを学ぶことができました。



私はこの学校で、たくさんの人との出会いや挑戦を通して、大きく成長することができました。

これからの生活でも、この学校で学んだ「挑戦すること」「仲間を大切にすること」を忘れず、一つ一つの経験を大切にしながら、自分らしく前に進んでいきたいと思っています。

宿泊活動で大きく成長！

小学部5、6年生が6月30日から7月3日まで、3泊4日で宿泊体験活動を行いました。今年は、サンカンタン池周辺の Center Sailing - Île Leisure を拠点に行い、最終日はフランス・ミニチュール France Miniature へ行きました。

施設でプログラムされたサイクリング、カヌー、ヨット、フィールドアスレチック、ミニゴルフに積極的に取り組みました。特にカヌーやヨットの体験は自分達だけで操縦するのは初めてという子どもたちも多かったと思いますが、あきらめることなく最後まで取り組むことができました。

また、自分たちで企画したレクリエーションも大変よく準備されており、さすが小学部をリードする高学年集団だと感じる場面が多く、頼もしく思えました。

最終日はミニチュールで思い出作り、いい表情で一日を過ごしました。子どもたちの成長を感じることができた4日間でした。



ご退職される先生とお別れ

1学期末をもって、音楽講師 伊藤祐己子、英語
会話講師 マチルダ・ヴァラディエ、事務職員 丸
山和子の教職員が退職することとなりました。

在職中、それぞれの立場で子どもたちのために
職務を遂行してこれましたのも、保護者の皆様か
らのご支援あつてのことと心より感謝申し上げま
す。

終業式のあと、児童会・生徒会進行によるお別
れの会を開きました。それぞれの先生からご挨拶
をいただき、児童生徒からは感謝の言葉と心を込
めて用意した手紙や
プレゼントをお渡し
しました。

先生方のますます
のご活躍をお祈りい
たしております。



9月の主な予定

月	日	曜	活 動
9	1	火	2学期始業式
	2	水	中学部実力テスト 進路説明会
	3	木	バス避難訓練
	7	月	全校集会
	17	木	中学部青少年の主張大会 避難訓練
	21	月	小学部秋の遠足(ヴェルサイユ庭園)
	23	水	小1 社会見学(Carefour)

